

■本巢市（もとすし）

人口 33,805 人 面積 374.62 km²

【ウオーキング】



平成 16 年 2 月 1 日に 4 つの町村が 1 つになり、人口約 3.5 万人の本巢市が誕生しました。当市は、樹齢 1500 年余の日本三大桜の 1 つ「淡墨桜」をはじめとする豊かな自然と多くの文化財に恵まれており、それらは市の誇る宝です。また、2009 年には東洋経済新報社の「住みよさランキング」で全国総合 1 位になってから、毎年上位に入るなど、自然と人が共生しているまちです。



【春】市北部の山間部の淡墨公園＝本巢市根尾板所＝にたたずむエドヒガンザクラの古木。大正 11 年に国の天然記念物に指定され、「山高神代桜」（山梨県）、「三春滝桜」（福島県）と並んで日本三大桜の一つに数えられています。つぼみの時は、薄いピンク、満開時は白色、散り際に淡い墨をひいたような色になることから、その名が付けられたといわれています。

【夏】清流・根尾川をそ上するアユ。豊かな水環境で育つアユは独特な香りを放つ絶品。シーズンに合わせ、アユ料理を楽しめる「やな」が川沿いに開業。刺身や田楽、雑炊などアユづくりを楽しむことができます。

過去には、うすずみサマーフェスティバル「宗次郎淡墨桜コンサート」にて、市文化交流大使でオカリナ奏者の宗次郎さんと根尾中学校の生徒らが、優しいオカリナの音色を山あい響かせました。

根尾川花火大会、根尾川河畔を舞台に、光と音の競技が繰り広げられます。



【秋】紅葉に染まる溪谷。それを縫うように走る樽見鉄道の車窓から味わう眺めも趣きがあり、観光客に毎年喜ばれています。岐阜市が発祥で「甘柿の王様」と称される富有柿。収穫のピークを迎える 11 月、市内のあちこちで橙色の果実がたわわに実る風景は、本巢市の秋の風物詩となっています。

【冬】冬の訪れとともに、自然環境保全地域に指定された能郷白山が雪に覆われます。美しい溪谷美を誇る根尾川の先に臨む霊峰は絶景です。

癒やしとくつろぎの魅力が詰まった「うすずみ温泉四季彩館」。地元の食材をふんだんに使った料理や、山々を一望できる温泉を楽しめます。淡墨桜にちなみ、花をかたどった浴槽などもあります。

